

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 6 部門第 3 区分
【発行日】 令和 4 年 1 月 18 日(2022.1.18)

【公開番号】 特開 2020-119489(P2020-119489A)
【公開日】 令和 2 年 8 月 6 日(2020.8.6)
【年通号数】 公開・登録公報 2020-031
【出願番号】 特願 2019-112786(P2019-112786)
【国際特許分類】

G 0 8 B 25/04(2006.01)

G 0 8 B 25/00(2006.01)

G 0 7 C 9/00(2020.01)

【F I】

G 0 8 B 25/04 F

G 0 8 B 25/00 5 1 0 M

G 0 7 C 9/00 Z

【手続補正書】

【提出日】 令和 4 年 1 月 7 日(2022.1.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のゾーンの各々を撮影するカメラのカメラ識別情報と前記複数のゾーンとをそれぞれ対応付けるとともに、登録顔画像データと前記登録顔画像データの人物の立ち入りが許可されたゾーンとを対応付けて記憶するデータベースと、
前記複数のカメラから、顔画像データを受信する通信部と、
前記データベースを参照し、前記カメラ識別情報に基づいて、前記顔画像データの人物が撮影された撮影ゾーンを特定し、前記顔画像データと前記撮影ゾーンに対応付けられている前記登録顔画像データとを照合して人物の立ち入りを判定する制御部と、を有する、
情報処理装置。

【請求項 2】

前記通信部は、前記複数のゾーンの各々に対応して設けられたカードリーダーから、カード顔画像データを受信し、
前記制御部は、前記カード顔画像データを前記登録顔画像データとして、前記データベースに前記登録顔画像データの人物の立ち入りが許可されたゾーンと対応付けて記憶する、
請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記制御部は、前記顔画像データの人物が撮影されたゾーンにおいて、前記顔画像データの人物が立ち入りを許可された時間であるか否かを判定する、
請求項 1 または 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

複数のゾーンの各々を撮影するカメラのカメラ識別情報と前記複数のゾーンとをそれぞれ対応付けるとともに、登録顔画像データと前記登録顔画像データの人物の立ち入りが許可されたゾーンとを対応付けて、データベースに記憶し、
前記複数のカメラから、顔画像データを受信し、
前記データベースを参照し、前記カメラ識別情報に基づいて、前記顔画像データの人物が

10

20

30

40

50

撮影された撮影ゾーンを特定し、前記顔画像データと前記撮影ゾーンに対応付けられている前記登録顔画像データとを照合して人物の立ち入りを判定する、
判定方法。

【請求項5】

コンピュータに、

複数のゾーンの各々を撮影するカメラのカメラ識別情報と前記複数のゾーンとをそれぞれ
対応付けるとともに、登録顔画像データと前記登録顔画像データの人物の立ち入りが許可
されたゾーンとを対応付けて、データベースに記憶し、

前記複数のカメラから、顔画像データを受信し、

前記データベースを参照し、前記カメラ識別情報に基づいて、前記顔画像データの人物が
撮影された撮影ゾーンを特定し、前記顔画像データと前記撮影ゾーンに対応付けられてい
る前記登録顔画像データとを照合して人物の立ち入りを判定する、

処理を実行させるプログラム。

10

20

30

40

50